

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年												2023年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日
カンピロバクター	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	11	11	15	13 (1)	7
病原性大腸菌	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	12	10	17	16 (3)	26
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0
サルモネラ	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1	0	3	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	3	2	2	0	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2	2	3	5
腸炎ピリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
ノロウイルス	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和5年第16週(4月17日~4月23日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		1	2		2	2	
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2			1		1		
四類	4	日本紅斑熱	4			1		1	1	1
五類	7	急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5					3	1	1
新型コロナウイルス感染症等感染症	1,995	新型コロナウイルス感染症	1,995	235	157	191	40	971	124	277

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第16週に971件の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。全国的に増加傾向であり、今後の発生動向に注意が必要です。感染を再拡大させないために、一人一人が基本的な感染予防対策を続けることが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり5.89人の報告がありました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が4件報告されています。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
 第16週 A型:50人、B型:2人

3 咽頭結膜熱

定点当たり0.63人と、前週と比べて増加しています。

4 日本紅斑熱

今年初めての報告が1件ありました。患者の発生は、マダニの活動が活発な春から秋にかけて見られます。山や草むらに入るときは、長袖、長ズボンを着るなど、マダニに咬まれないように注意しましょう。また、野外での作業後、数日から10日前後で発熱・発疹などが認められた場合には、できるだけ早い時期に医療機関を受診しましょう。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	212	5.89	0.36	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.04	
	咽頭結膜熱	15	0.63	0.29	↑		RSウイルス感染症	9	0.38	0.24	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.38	1.50	↗		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	110	4.58	7.56	⇒		流行性角結膜炎	3	0.38	0.60	
小児科	水痘	2	0.08	0.15		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.38			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.12			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	12	0.50	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.66	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇒		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	34	70歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	8	50歳代・O血清群不明
4	日本紅斑熱	1	1	70歳代
5	急性脳炎	1	1	10歳未満
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	60歳代
5	梅毒	3	77	20歳代、30歳代、40歳代